

# ルールやマナーを守ろうとする意識を みんなで育てよう！

栃木県総合教育センター

## 調査から

生活する上で大切なことを言って聞かせたり、好ましくない行動には注意をしたりする家庭では、子どもに「しつけ」が身に付いており、ルールやマナーを守ろうとする意識が高い傾向が見られました。



## 家庭できちんと「しつけ」しましょう

### みんなで育てよう

子どもの行動が「できていない」と感じたときには、自信をもって指導し、「できている」と感じたときには、「できて当たり前」ではなく「よくできたね。」などと声をかけ褒めたり認めたりしながら、社会のルールやマナー、人に迷惑をかけることなどについて意図的に話して聞かせましょう。



## 調査から

子どもたちのルールやマナーを守ろうとする意識は、学年が上がるにしたがって全体的に低くなっています。



## 発達段階に応じた指導を続けましょう

### みんなで育てよう

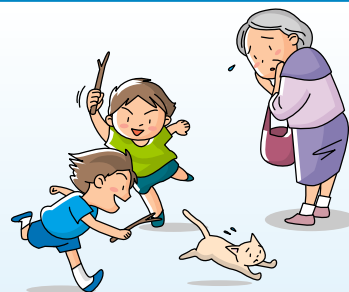
子どもたちは、成長に応じて、行動も意識も家庭から範囲が広がっていきます。家庭に加え、学校・地域で子どもに関わる多くの大人が、ルールやマナーについて、指導し続けていきましょう。

人や立場が違って、同じように指導することが、子どものルールやマナーを守ろうとする意識を高めることにつながります。



## 調査から

子どもが悪いことをしたときに、自分の子どもだと注意しますが、他人の子どもではなかなか注意しにくいこともあるようです。



## 子どもたちに声をかけましょう

### みんなで育てよう

普段から近所の子にあいさつをするなど、声をかけましょう。また、もし注意しなければならない場面に遭遇した場合、「注意をする」と身構えずに、「どうしたの?」「ちょっとごめんね!」などと、声をかけましょう。

いつも大人が子どもたちのことを見ていることを伝えていくことが大切です。



## 調査から

子どものルールやマナーを守ろうとする意識を上げていくためには、「大人が見本を示す」ことが大切であると、多くの保護者も児童生徒も考えていることが分かりました。

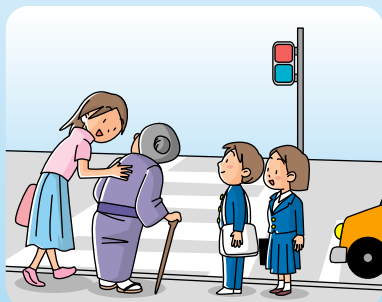


## 大人が「見本」を示しましょう

### みんなで育てよう

大人が、子どもたちの「見本」となれるよう努力していきましょう。

また、新聞やテレビなどで報じられる事件などに触れたときに、それが「悪い」ことであることを話題にしたり、どう行動すべきかについて話し合ったりすることも大切です。



子どもの生活に関する調査 - 子どもの規範意識を高めるために -

調査期間 平成17年7月

調査対象 県内の小学校5年生、中学校2年生、高校2年生の児童生徒とその保護者 約2200名

調査報告書は、栃木県総合教育センターHPからダウンロードできます。

<http://www.tochigi-c.ed.jp/>